比叡山マルチピッチ

【報　告　者】Ｏ川
【日　　時】Ｈ２７年８月２日(日)　　【天　候】曇りのち晴れ
【参　加　者】Ｎ谷、ミッチー、Ｔ田、Ｏ川

≪コースタイム≫

四季見原キャンプ場出発→　駐車場着→　取りつき８：００→１ピッチ開始８：１３
→２ピッチ目着９：０６→３ピッチ目着９：３３→４ピッチ目着１０：１０
→５ピッチ目着１０：４３→６ピッチ目着１１：２５→７ピッチ目終了１１：４７
ミッチーさんＴ田さんペア　７ピッチ目終了１２：４１
下山開始１３：００→駐車場着１４：１１

≪　報　　告　≫

　前日は、標高約１２００ｍの四季見原キャンプ場にてビール祭りを楽しく過ごして、初マルチにドキドキしながら眠り、いつの間にか朝になっていました。
３１日の前泊で、３時半ちかくまで飲んでいたので寝不足もありましたが・・・・
　朝起きると、夜中に雨が降ったようで、地面が濡れていて、マルチできないかも？と不安がよぎり、祖母山に転進？？？　７．５時間のハイクもできるのかな？
とマルチチームで作戦会議。天気予報を見ると１４時くらいから雨予報！？
不安を抱えて、とりあえず比叡山まで行き濡れていたら、日向神に行くことに。
　車の中から近づいてくる比叡山を初めて見て、かっこいい～！と思う反面、「あの岩を登るの？」とますます不安が・・・道路は濡れてなく、駐車場に止めて準備を始める。初マルチで、よくわかっていない私は、３人の装備をチラチラ見ながらマネして準備をする。わからないことは、先輩に聞いて準備完了！ドキドキ、ワクワク。

駐車場から取りつきまですぐで、ダブルロープ（K 崎さんが新品のロープを初マルチの私に貸してくれて感激でした）を準備する。ダブルは、練習でしか使用したことがなかったので、少し不安でしたが、N 谷さんにアドバイスをもらい、何とかｾｯﾃｨﾝｸﾞできた。１スラスーパーを、N 谷さん、O 川ペア、ミッチーさん、T 田さんペアで時間差にて同じルートを登る。最初に N 谷チーム。私がビレーをするところをミッチーさん、T 田さんにみてもらい、とりあえずＯＫということで私も登ることに。準備の時からアブにつきまとわれて、登っているときもずっとついてきて手で払いながら、集中力を奪われる・・・前日に本匠でクライミングの練習をしていたおかげか？手も足もいいところがたくさんあり、１ピッチ目は何とか登れた。２ケ所セルフを取り安心していると、ギアを渡すのを忘れていて注意を受ける。２ピッチ目開始。ビレー中に、後から登ってきたトップの T 田さんが、離れている上の方でセルフをとっているのが見えた。同じルートの場合は、違うとことでセルフを取ると思っていたら、私が見えなくて横に行ってしまったとのこと。トップは大変だと実感する。２ピッチ目は、左にかなりトラバースするところで、下を見るとゾッとするほどの高度感があり、「落ちたら絶対死ぬなぁ～」と恐怖感を覚えつつ、慎重に登る。２ピッチ終わったところで小休止。N 谷さんは、昨日みんなで握ったおにぎりを食べていたけど、私は極度の緊張感でおにぎりは食べれず、ゼリーを一気に飲んだ。次は、噂の？亀の甲羅スラブ。天気は回復して、汗が滝のように流れる中、トップロープなので不安ながらも、自分の手と足を信じて登る。ミッチーさん、T 田さんペアは全く姿が見えず、わずかに声が聞こえる状態。４ピッチ目を終了して、「亀の甲羅みたいだったでしょう」と言われるが、夢中で登ったせいか全く覚えてない・・・このあたりから、長時間履きなれないシューズで足が痛くなり、脱いで休憩。来る途中で見たニードルがすぐ横にそびえ立ち、感動し、写真撮影。その後、ＡＴＣを落としてしまうミスを起こすがテラスだった為セーフ。危ない危ない。６ピッチ目開始するが、私が見る限り手も足もなく、泣きそうになる。こんなところをトップの N 谷さんは登ったのかと思うと、尊敬してしまう。横に生えている木を少し使い、ヌンチャクを持ちながら悪戦苦闘。朝おにぎり１個のみだった為、急にお腹が空いてきて力もなくなっているとことに、下にミッチーさんの姿が見えてくる。気力復活で、６ピッチ目終了。これで最後だからと言われ、慎重に登り、11:47 終了！！おにぎりを２個食べて休憩する。ミッチーさんたちの姿も見え、到着してトップのしている動作を横で観察しながら、練習でしたことを再復習する機会となり、とてもよかった。下山ルートは、再びクライミングで、少し危険な場所もありながら、登山道をおりて駐車場到着。危険と隣合わせだけど、協力して登る達成感は素晴らしいし、楽しかった。初マルチの私の指導で大変だったと思いますが先輩方ありがとうございました。もっと、勉強して、色々な山のマルチを体験したいです。